

令和7年度新研修医総合オリエンテーションを開催！ ～200名を超える京都府内の新研修医が一堂に会す～

4月4日(金)に新研修医総合オリエンテーションを府医会館で開催しました。
コロナ禍以降、オンラインでの開催が続いていましたが、6年ぶりに京都府医師会館に集まることができ、過去最多の200名を超える研修医が参加しました。

本オリエンテーションは、新研修医としての心構えや研修医の「スキルアップ」、「レベルアップ」、病院の枠を超えた「ヨコの繋がり(ネットワークづくり)」を目的としており、京都府医師会、京都府、臨床研修指定病院が協力して、研修医をサポートする取り組みの一つでもあります。

グループワークでは、勤務先の異なる者同士でグループを組んで、今後の臨床研修において必要な“初対面の人”とのコミュニケーションの取り方を学んだほか、研修医が知っておくべき「メンターメンティンシップ」、「虐待の対応」についての講義を受け、今後の研修やキャリアにおいて重要な心構えを学びました。

また、当日はKMA.comを通じて入会の手続きを行った研修医に府医オリジナルスクラブを進呈しました。

KMA.comには、様々な研修会の情報や、動画コンテンツ、医賠責や医師年金など役立つ情報がたくさん掲載されておりますので、ぜひ、ご登録の上、ご活用ください。



KMA.comに
ご登録ください。



第51回 京都医学会

京都府医師会イベント案内!

第51回 京都医学会

参加費
無料

と き 2025年9月28日(日) 9時30分～18時

と ころ 京都府医師会館

会員が経験した症例等を発表する「一般演題・初期研修医セッション」やエース指導医によるコンペティション「Re-1グランプリ」、各専門医会が目玉のトピックスを紹介する「専門医会レクチャー」など、多数のプログラムを用意しております。開業医、勤務医、地域の垣根を越えて交流を深めることのできる学会になるよう、多数のご参加をお待ちしております!

京都医学会サイト▶



編集後記

今回の研修医REAL Interviewでは、康生会武田病院の研修医の先生にお話を伺いました。少人数ならではの密な指導体制が整っている環境であることが二人の言葉から伝わりました。取材へのご対応ありがとうございました。表紙写真は、京都府医師会主催の新研修医総合オリエンテーション会場からのスナップショットです。久しぶりの現地開催ができ、京都府下の数多くの研修医が参加してくれました。京都府医師会では、定期的に若手医師の横のつながりや教育の機会を提供しております。引き続き、ぜひご参加、ご協力をお願いします。(記載: 森田 輝)

Arzt編集部 森田 輝(京都府立医科大学) 松原 慎(京都府立医科大学) 松村うつき(京都府立医科大学) 福富 康平(京都府立医科大学附属北部医療センター)



一般社団法人 京都府医師会
〒604-8585 京都市中京区西ノ京東桐尾町6
TEL.075-354-6104 FAX.075-354-6074
<https://www.kyoto.med.or.jp/>

京都府医師会では本紙を定期的に発刊しており、次号10月に発刊予定です。
掲載内容向上のために、本誌に関するご意見・ご要望をお寄せください!
また、研修医・編集委員を募集しています。
編集に携わってみたい先生がおられましたら、事務局までご連絡ください。

《Arzt》:ドイツ語で「医者」を意味する言葉から本誌のタイトルを取りました。

研修医・若手医師のための情報誌『Arzt』

Arzt

Vol.19

研修医REAL INTERVIEW

難しさを実感してこそ 見えてきたおもしろさ

研修医・若手医師のための情報誌『Arzt』

Arzt Vol.19

2025年7月5日発行

発行人 一般社団法人 京都府医師会

制作

Arzt編集部

一般社団法人 京都府医師会

研修医

REAL INTERVIEW



難しさを実感してこそ 見えてきたおもしろさ

今回お話を伺ったのは、武田病院に勤務する初期研修2年目の今泉先生と1年目の小林先生。外国人や高齢者など、日々、多種多様な患者と接し、学生時代とは異なる難しさを感じながらも見出した医師の仕事のやりがいや面白さについて語っていただきました。

全部行うのが良い医療ではなく 必要な検査や処置を選択することが重要

今泉先生（以下：敬称略）：研修先を決めるにあたって、いくつかの病院を見学した中でも当院に惹かれたのは、研修医が各期2名と少数であることです。その分、先生方と密にコミュニケーションを取りながら指導を受けられるところに魅力を感じました。加えて当院が、「外国人患者受入れ医療機関認証制度」の認定を受け、外国人の診療を積極的に行っているところにも、興味がありました。

小林先生（以下：敬称略）：私も研修医の数が少ないからこそ、手厚く指導していただけるだけでなく、より多くの経験を積めると期待し、当院に決めました。

今泉：実際ローテーションで診療科を回っても、指導医の先生方が名前を憶えてくださり、別の診療科に移った後も、「今はどの科を回ってるの?」「今度、こんな処置をするから見に来ない?」などと気にかけてくださるので、心強いですね。

小林：先生方が、想像した以上に熱心に指導してくださることに驚きました。わからないことを尋ねると、自分の仕事の手を止めて、時間を惜しまず説明して下さいます。

今泉：臨床現場では、大学で勉強した通りにいかないことがたくさんあります。患者さんに薬の服用や検査の必要性を説明しても、納得してくださらない時は、どうすれば理解していただけるのか、伝える難しさを感じます。また当直では、救急に運ばれてきた外国人の患者さんを診る機会もあります。翻訳アプリを使って症状を聞いたり、こちらの意図を伝えることには、いつも苦心しています。



小林：学生時代と一番違いを感じるの、責任の重さです。模型を使った実習とは違い、生身の患者さんへの処置で失敗は許されません。呼吸器内科で初めて患者さんに処置した時は、手が震えるほど緊張しました。そうした手技以上に難しいのは、患者さんへの問診です。救急に運ばれてきた患者さんに問診しようとした時は、何から尋ねればいいのか分からず、言葉に詰まってしまいました。その時、指導医の先生が患者さんを見て即座に判断し、最小限の質問で必要な情報を聞き出すのを見て、「やっぱりすごいな」と思いました。

の時、指導医の先生が患者さんを見て即座に判断し、最小限の質問で必要な情報を聞き出すのを見て、「やっぱりすごいな」と思いました。



医療法人財団 康生会 武田病院

地域の急性期医療を牽引し続けています

当院は、病床数384床の地域の基幹施設として、特に循環器内科のインターベンション治療をはじめ、内科、外科、循環器内科、心臓血管外科、脳神経外科、整形外科など、手厚い医療スタッフで、24時間体制の救急受け入れと、ICU・CCU、SCU、HCUを完備し、救急医療に高い実績を持っています。加えて、各科における医療の質の向上を目指して、常に最先端の技術導入を図るとともに、急性期診療施設として質の高い医療サービスの提供と、常に「思いやりの心」を持ち、患者さんに信頼される病院を目指しています。



同じ病気でも症状・治療は千差万別 終わりがいいからおもしろい

今泉：研修が始まる4月、京都府医師会の「新研修医総合オリエンテーション」に参加しました。当院の同期は2人しかいないので不安に感じることもありましたが、オリエンテーションで、すぐ近くに1年目の研修医がたくさんいて、同じように頑張っているのを知り、励まされました。



小林：今春の「新研修医総合オリエンテーション」は、コロナ禍以来続いていたオンライン開催から現地開催となり、他の病院の研修医たちと直接会うことができました。連絡先を交換するなど、横のつながりができたのが良かったです。今後、「屋根瓦塾」などの研修にも参加したいと思っています。

今泉：まだまだ実力不足を痛感することばかりですが、やりがいを感じることもたくさんあります。最初は何も話してくださらなかった患者さんが、毎日病棟に通ううちに、いつしかご自身について話してくださるようになり、退院の時、「ありがとう」と言ってくださった時は、感動しました。今もできるかぎり患者さんの元に足を運び、時間をかけてお話を聞くことを心がけています。

小林：確かに「ありがとう」の一言をいただいた時が、一番嬉しいですね。厳しい治療を終えた患者さんが退院される際、「しんどいこともあるけれど、頑張って生きていきます」と言われたことが忘れられません。医療は、病気を治すだけでなく、前向きに人生を生きる力にもなる。そう実感しました。

今泉：同じ病気であっても、患者さんによって症状も治療の方法も千差万別です。今は外科に関心を持っていますが、どの診療科を選んでも、またどれだけ経験を積んでも、学びに終わりはありません。だからこそおもしろいし、挑みがいのある仕事だと思っています。



小林：私も学生時代から外科に興味を持っていますが、研修は始まったばかり。これからさまざまな診療科で経験を積み、専門を決めるつもりです。



Profile

小林 空暉 先生

武田病院
初期研修1年目

小学生の時、山中伸弥教授がiPS細胞の研究でノーベル賞を受賞したニュースを見て、医学に興味を持った。おいしいご飯屋さんに行くのが休日の楽しみ。最近、かき氷にハマっている。

内分泌・
糖尿病内科

一日のスケジュール 小林 空暉先生

7:15 起床
8:00 出勤、カルテ確認
8:45 病棟回診
10:00 上級医や他職種と相談、オーダー
12:00 昼食、休憩
13:00 入院時診察、処置、対診、カンファレンス、抄読会、救急症例の自習など
17:00 EPOCの登録、症例レポートの執筆
18:00 退勤後、自由時間（夕食、入浴、運動、動画鑑賞など）
0:00 就寝

Profile

今泉 和佳 先生

武田病院
初期研修2年目

医師である父の姿を見て、いつしか同じ道を志すようになった。熊本県から京都に来て1年余り、休日に京都の名所を巡るのが、今の楽しみ。

外科
ローテート

一日のスケジュール 今泉 和佳先生

7:00 起床
8:00 出勤、カルテ確認
8:30 回診
9:15 手術
14:00 昼食
14:30 病棟業務（ドレーン抜去など）
16:00 カルテ記入、振り返り
17:30 退勤
18:30 夕食
20:30 明日の手術の予習や動画鑑賞など
22:30 入浴など
0:00 就寝